

〔流域下水道事業の部〕

令和2年度上半期の業務状況

1 業務の状況

(1) 営業

この事業は、県民の生活環境の改善と河川や湖沼などの公共用水域の水質保全を図るために、県が設置・管理する下水道で、幹線管渠と水質浄化センターの基幹施設で構成され、2流域6処理区の19市町村で事業をしています。

6処理区は、沼田市及びみなかみ町を区域とする奥利根処理区、前橋市及び高崎市等10市町村を区域とする県央処理区、桐生市及びみどり市を区域とする桐生処理区、太田市及び邑楽郡3町を区域とする西邑楽処理区、太田市を区域とする新田処理区、伊勢崎市及び太田市を区域とする佐波処理区で構成しています。

当期における処理水量実績は、次のとおりです。

名 称	実 績		前年同期比 B / A × 100
	令和元年度上半期(A)	令和2年度上半期(B)	
奥利根処理区	2,157,106 ^{m³}	2,063,649 ^{m³}	95.7%
県央処理区	28,545,451 ^{m³}	31,037,115 ^{m³}	108.7%
桐生処理区	3,489,088 ^{m³}	3,601,659 ^{m³}	103.2%
西邑楽処理区	1,795,036 ^{m³}	2,084,861 ^{m³}	116.1%
新田処理区	959,650 ^{m³}	1,117,936 ^{m³}	116.5%
佐波処理区	563,165 ^{m³}	699,714 ^{m³}	124.2%
合 計	37,509,496 ^{m³}	40,604,934 ^{m³}	108.3%

(2) 建設

各処理区では、ストックマネジメント計画に基づく更新施設の設計業務委託及び工事を進めるとともに、新設施設としては、伊勢崎幹線の設計業務委託、管渠築造工事等を進めています。

2 経理の状況

当期における各会計の経理の状況は、次のとおりです。

予算執行状況

(令和2年9月30日現在)

収益の収入及び支出

(単位 円)

予算科目	予算現額	調定額	収入額	予算残額
流域下水道事業収益	10,585,851,000	3,459,984,315	3,440,603,002	7,125,866,685
営業収益	4,053,428,000	2,027,239,896	2,027,028,947	2,026,188,104
営業外収益	6,532,423,000	1,432,744,419	1,413,574,055	5,099,678,581
予算科目	予算現額	戻入額	執行額	予算残額
流域下水道事業費用	10,525,655,000		1,385,904,340	9,139,750,660
営業費用	10,068,788,000		1,150,205,930	8,918,582,070
営業外費用	347,233,000		169,793,953	177,439,047
特別損失	109,634,000		65,904,457	43,729,543

資本の収入及び支出

(単位 円)

予算科目	予算現額	調定額	収入額	予算残額
流域下水道事業資本の収入	3,393,909,000	305,950,000	300,190,000	3,087,959,000
企業債	1,061,000,000			1,061,000,000
国庫補助金	1,660,390,000			1,660,390,000
他会計出資金	23,010,000			23,010,000
工事費負担金	649,509,000	305,950,000	300,190,000	343,559,000
予算科目	予算現額	戻入額	執行額	予算残額
流域下水道事業資本の支出	4,545,168,000		817,839,191	3,727,328,809
建設改良費	3,080,909,000		90,283,514	2,990,625,486
企業債償還金	1,464,259,000		727,555,677	736,703,323

繰越事業

(単位 円)

予算科目	予算現額	調定額	収入額	予算残額
流域下水道事業資本の収入	236,439,000			236,439,000
企業債	78,000,000			78,000,000
国庫補助金	158,439,000			158,439,000
予算科目	予算現額	戻入額	執行額	予算残額
流域下水道事業資本の支出	316,878,000		16,858,000	300,020,000
建設改良費	316,878,000		16,858,000	300,020,000